

少子化対策 子ども・子育て支援の原資 生活保護世帯以外の全医療保険加入者が対象

医療保険料 強制徴収開始 4月から

年間保険料額 26年度は2,400円～4,800円 28年度は4,200円～8,400円

	医療保険加入者一人当たり平均月額支援金額(試算額)		
	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度
全制度平均	250円	350円	450円
被用者保険	300円 (参考)被保険者一人当たり500円	400円 (参考)被保険者一人当たり600円	500円 (参考)被保険者一人当たり800円
	協会けんぽ	250円 (参考)被保険者一人当たり450円	450円 (参考)被保険者一人当たり700円
	健保組合	350円 (参考)被保険者一人当たり550円	550円 (参考)被保険者一人当たり900円
	共済組合	350円 (参考)被保険者一人当たり650円	600円 (参考)被保険者一人当たり1,000円
国民健康保険(市町村国保)	200円 (参考)一世帯当たり300円	300円 (参考)一世帯当たり450円	400円 (参考)一世帯当たり550円
後期高齢者医療制度	200円	250円	350円
※(参考)被保険者一人当たりの金額は、被扶養者等を含む金額のこと。			

議案
国民健康保険税条例改正 賛成多数 可決

子育て支援の原資とする、医療保険税制度が変わった。

【制度の内容】
生活保護世帯以外全ての医療保険加入者は、所得に応じて、別表のように強制的に徴収される。

【子ども・子育て支援内容】
・児童手当の所得制限撤廃。
・支給期間の延長。(中学生まで←高校生年代まで)
・第3子以降は月額3万円。
・大学無償化。(3人以上の子がいる世帯)
・出産・育児支援。(妊娠・出産時に計10万円)
【保険金徴収開始時期】
・2026年4月1日。

物価高生活支援金給付事業(筑豊管内分)

自治体名	事業内容
飯塚市	クーポン券：1世帯1万円+1人当たり6千円加算
嘉麻市	現金：1人5千円
田川市	商品券：1人1万円(65歳以上1.5万円)
糸田町	現金：1人1.5万円
大任町	未定
川崎町	商品券：1人2万円
香春町	商品券：1人1.3万円
桂川町	水道料金の減免
添田町	商品券：1人1.5万円
福智町	現金：1人1.5万円
赤 村	現金：1人3万円

子育て応援手当 支給事業

【事業目的】
・物価高対策としての子育て世帯支援。
【支給対象者】
・児童手当支給対象児童を養育する父母など(25年10月1日～26年3月31日まで生まれる新生児を含む)
【事業内容】
・児童1人2万円を支給する。(4700人見込)
・26年2月26日口座振込。
・公務員など申請が必要な人は、3月以降支給。

物価高生活支援金 給付事業

【事業内容】
・市民1人に5千円の現金を支給する。
・専決議案で全会一致承認。
※ 物価高生活支援金給付事業は、いわゆるお米券配布事業で、筑豊管内の取り組み事業内容は別表の通り。

子育て応援!



絵 熊谷 廉

ため池改修事業 750万円
危険な状態にある、嘉穂地区馬見中原ため池の堤体を改修する。

店舗リフォーム補助金 500万円
改修費用(上限50万円)

地域商品券発行事業 5000万円
商工会が行う、プレミアム付き商品券発行事業。

発行数2万冊。
〇1万円で1万3000円。
【1冊の内訳】
〇共通商品券1万500円
〇中小店舗商品券2500円。
〇購入方法は抽選。
〇申し込み日は不明。

新年度予算2

西鉄バス路線維持
【バス路線維持負担金】
1 碓井・大分抗線 523万8千円
2 利用実績7万4618人。
飯塚～大隈線 354万9千円
利用実績35万6095人。
3 飯塚市、桂川町と利用実績に基づき負担する。

通学等補助金
3466万7千円
大学・専門学校まで拡大。
5割補助。実績578人。

生活困窮者就労支援
1500万円
ひきこもりや中高年齢者へ就労支援を行う。25年度実績は279回(延回数)。

防犯灯建替え工事
239万3千円
漆生地区の防犯灯は。九州電力電柱への共架分予算は入っている。

西鉄バス補助金
156万円
ブランドバス購入者139人。補助額は89万6千円。

高齢者コミュニティ支援 906万4千円
敬老事業の他、高齢者見守りなどにも使用可能。

すくすくかまっこ祝金
800万円
新生児1人5万円を支給する。160人想定。

延長保育事業補助金
190万9千円
延長保育している、1園(みどり保育園)を補助する。

新生児聴覚検査委託
59万5千円
25年度から飯塚市、桂川町との統一事業として実施。

妊婦への支援事業
1607万6千円
妊婦1人5万円、妊娠している子ども1人5万円の現金またはギフトを支給。流産・死産も対象になる。

定期予防接種事業
8500万円
【事業内容(高齢者対象)】
・インフルエンザ予防。
・肺炎球菌予防。

新型コロナウイルス予防。
・带状疱疹ワクチン予防。

予防接種健康被害
157万5千円
新型コロナウイルス接種の被害者で、現在3人が治療継続中。

太陽光発電システム
100万円
上限8万円補助で、25年度実績は6件。

担い手機械導入補助
2485万6千円
認定農業者などの担い手に対して、田植え機・トラクター・ドローン・乗用管理機などの機械導入経費(半額以内)を補助する。

新規就農者育成支援
1500万円
・24年から継続交付者3人。
・25年から継続交付者4人。
・26年度新規交付者3人。

農業用ため池劣化調査
144万3千円
・山田地区8池。
・稲築地区8池。
・碓井地区2池。
・嘉穂地区10池。

事業費の1/3以内 単位：千円			
区分	所在	導入機械	事業費
個人	上臼井	ディスクモア	1,382
個人	漆生	ロータリー テッド等	3,710
法人	馬見	飼養規模拡大 施設機械整備	1,000
法人	馬見	畜舎改造(増棟)	17,130

畜産振興 773万9千円

10a当りの交付金内容	
農地維持	3,000円
資源向上(共同)	2,400円
資源向上(長寿化)	4,400円
組織数	36
面積	1,194.9ha

10a当りの交付単価	
田(急傾斜)	21,000円
10a当り加算額	
超急傾斜農地	6,000円
ネットワーク	10,000円
スマート農業	5,000円
取組集落：18組織 取組面積：3381a	

中山間地直接支払 7427万6千円

議案審議I
特定乳児等通園支援
【質】 昨年12月の「乳幼児等通園支援事業」条例との違いは。
【答】 昨年の条例は、「児童福祉法」に基づき、設備や職員配置等の認可基準を定めるものである。
今回の条例は「子ども子育て支援法」に基づき、乳児等支援給付費の支給に必要な確認基準を定めるもの。
【質】 対象児童数は。約60人だ。
【答】 全会一致可決

観光振興審議会条例
第3次観光振興基本計画の期間は、2026年度末まで。第4次計画を立てるため、審議会を設置する。
【質】 第4次計画は、28年度からになっている。27年度は空白ができるが。
【答】 当初1年で策定する予定だったが、2年となったため空白期間ができた。
全会一致可決

コテージ種類	定員(最大)	改正前	改正後	増加分
小コテージ	5人(8人用)	15,400円	23,500円	8,100円
中コテージ	6人(12人用)	17,600円	26,900円	9,300円
定員超加算(1人当り)		1,650円	3,000円	1,350円

介護保険条例改正
25年度の税制改正で、介護保険料の算定方式を変更した。このことで、26年度の保険料収入が減収になる。制度を維持するため、26年度に限り算定方式を旧来のものにする。
全会一致可決

キャンプ村条例改正
古処キャンプ村の利用料金を見直す。
全会一致可決

再提出契約書案 地権者の過失責任増の内容

新ごみ処理施設 建設用地 買収契約 可決

飯塚市佐與・明星寺・綱分の取引価格を参照した鑑定評価に異論続出

県央議会

新ごみ処理施設建設

ふくおか県央環境広域施設組合議会が、2025年12月25日に開かれた。議事内容は、11月26日に可決した建設用地買収予算に基づく、土地購入契約議案の承認である。

議案審議の中で、土地売買契約書第7条中「本件土地は過去、全体的に湿地化していた」との記述があり文言が不適切と指摘された。この指摘に事務局側は答弁できず、武井組合長は議案を取り下げた。

同議会が26年2月17日に開かれ、組合長は、修正した契約議案を再提出した。審議では、「鑑定評価の正当性」「変更された契約内容」「新たな施設内容」「建設のスケジュール」などについて議論が出た。採決では賛成多数で可決した。

新年度予算4

空き家改修補助金

100万円
・空家バンク登録物件。
・補助額は上限50万円。
・工事費の2分の1以内。

移住支援金

200万円
県外から移住し、就業および起業する者を支援する。
○単身世帯60万円。
○2人以上世帯100万円。
○18歳未満の者1人100万円加算(予算の範囲内)。

稲築鴨生公園改修

391万1千円
外灯、トイレの改修。

住宅耐震改修補助金

240万円
【耐震改修工事】
木造戸建てが対象で上限60万円。

【除却工事】
上限60万円。

空家実態調査

1314万5千円
市内全域の実態を調査。

特定空家解体補助金

750万円

市が特定空家として認定した家屋などを、解体撤去する場合、最大50万円まで補助する。

自主防災組織設立補助

200万円

・機材購入(上限30万円)。
・活動補助(上限10万円)。
・現在26団体(山田4、稲築5、嘉穂13、碓井4)。

学力向上プロジェクト

2312万6千円
土曜未来塾を実施する。

電子黒板整備

1936万円
44万円の電子黒板を、40台(小学校27台、中学校13台)導入する。

小学校照明機器改修

844万6千円

下山田小学校と牛隈小学校の蛍光灯を、LED照明に改修する。

小学校トイレ改修

165万4千円

上山田小学校の屋外トイレを、洋式に改修する。

中学校照明機器改修

608万円

嘉穂中学校(校舎棟)と山田中学校(ランチルーム)の蛍光灯を、LED照明に。

碓井義務教育学校整備

1188万円

地下ピット内に水分が滞留(原因不明)し、排水工事を行う。

情報機器端末更新

912万8千円
大隈城山校の情報端末65台を、更新する経費他。

稲築地区公民館解体

1億7516万9千円

新公民館の使用開始後、今の公民館を解体撤去する。

地区公民館修繕補助

1200万円

「公民館類似施設等補助金交付規定」に準じて、経費の2分の1を補助する。

・自治公民館補修費。

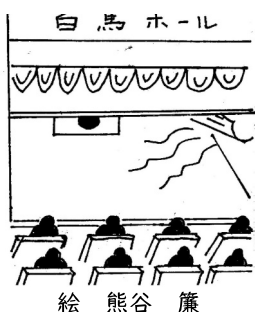
・上牛隈公民館改修費。

・上西郷(久吉)公民館新設。

白馬ホールの空調新設

396万2千円

下山田小学校白馬ホールに、エアコンを新設する。そのための関連経費分。



絵 熊谷 廉

No.71
2枚目

田中よしゆき

議会報告
後援会ニュース

2026年3月号

No.71-2

編集発行人
嘉麻市議会議員

田中 義幸

1面 県央議会・新年度予算4
2面 新年度予算5・補正予算

郵便受けに勝手に投函させていたいただきます。
議会報告書を不要なお方は、郵便受け付近に置いていただく。次回、回収し以降は投函いたしません。



新年度予算5

荒廃森林整備事業

4549万6千円
スギ・ヒノキの人工森林を調査し、切り捨て間伐を実施する。

市有林再生事業委託

792万4千円
荒廃している市有林11.7haを、間伐し整備する。

展示林整備事業

250万円
山田地区猪鼻にある、生活環境林を整備する。

市有林間伐材売払

320万円
市有林の売却による収益金を、「嘉穂地区分収林等管理規定」に基づき、嘉麻市と地元財産管理委員会とで分配する。

・千手ウツギハラ(市有地)
〈分収割合〉

7割

市 地元管理委員会 3割

・泉河内八丁(民間所有地)
〈分収割合〉

市 2割

地元管理委員会 8割

放置竹林対策事業

600万円
放置竹林整備に要する経費を補助する。上限40万円。

新生児記念品作成委託

52万5千円
ヒノキの端材で作成した積み木を、新生児に贈答する。150セット分。

林道維持補修事業

1237万5千円
熊ヶ畑・安真木線法面对策事業。

商品開発改善事業

150万円
ふるさと納税の返礼品に、登録または登録見込のある商品開発に、経費の2/3(上限20万円)を補助する。

誘致企業振興会補助

193万8千円

・人材確保支援事業。
・人材定着支援事業。
・高校生バスツアー事業。

地域おこし協力隊

239万4千円
第3期隊員で、地域おこし協力隊1人分の経費。

観光振興基本計画

320万1千円
第4次観光振興基本計画を2年間で策定する。

計画期間は28年〜32年までの5年間。2ページ参照。

橋梁長寿命化修繕計画

橋梁長寿命化修繕計画に基づき維持補修をする。

・86橋梁点検業務委託

1800万円

・中江橋、中川原下橋、宮山橋、新柿木橋の補修設計業務委託料

3100万円

・神降橋、鶴谷橋の橋梁補修工事

4000万円

街路灯更新工事

1000万円

補修、更新4箇所。

道路改良工事

9000万円

・中ノ坪団地内側溝改修。
・次郎五郎団地内側溝。
・山野ノ鴨生線道路舗装。

・上山田ノ下山田線道路舗装。

・妙見橋下部工拡幅工。

・浦田1号線道路整備。
・具嶋ノ赤松尾線舗装。

補正予算10号

全会一致可決

指定管理料

物価高騰により施設利用者が減少し、経営が厳しいため支援する。

単位：千円

施設名	金額
嘉穂福祉センター	95
山田いこいの家白雲荘	3,611
ふるさと交流館なつきの湯	1,512
古処キャンプ村	3,308
足白ボルダリングセンター	1,758

指定管理者

運営継続支援金

電気代や燃料費が高騰しているので支援する。

施設名	金額
嘉穂福祉センター	1,495,000円
山田いこいの家白雲荘	1,714,000円
ふるさと交流館なつきの湯	8,122,000円
カッホー馬古屏	191,622円
山田活性化センター	81,744円
道の駅うすい	3,331,000円

指定管理者運営継続支援金	
施設名	金額
足白ボルダリングセンター	595,123円
足白農泊施設	1,564,604円
プール管理	4,613,000円

介護事業所・施設支援

488万9千円
物価高騰により光熱費を支援する。

施設名	事業者数
入所系施設等	11
通所系施設等	8
訪問系施設等	14

相談支援事業所支援

11万4千円
物価高騰支援。
特定相談支援事業所 5所。
障害児相談支援事業所 4所。

基幹相談支援センター

130万5千円
嘉麻市、飯塚市および桂川町で共同設置している、障がい者基幹相談支援センターの移転に伴う負担金。

飯塚市立病院
小児科休日・夜間
診療運営費負担金
121万円

受診者減による収入減と人件費増のため、構成市町(嘉麻市、飯塚市、桂川町)の負担金を増額する。

農地集積・集約化等
対策事業補助金

1997万8千円

【補助目的】

担い手への農地集積と、集約化に取り組む地域に対し、農地中間管理機構(農地バンク)への貸付面積に応じて支援を行う。

【交付単価】

地域集積協力金(中山間地域)10a当り2万8千円。

単位：千円	
交付先	A組織
地域	中山間
面積	7,135a
単価	28
補助額	19,978



絵 熊谷 廉